

清風翁と清風松 (7)

清風松 その二



一方翁は平安古邸の清風松と同じ時に、三隅豊原の俳友磯部嬉春へ鶴岡八幡実生の稚松を贈っている。磯部の主人へ鶴ヶ岡実生の松を贈りて

まことあらば神のまもらむ

鶴ヶ岡の

松の齡の八千代経るとも

この磯部家の松も年久しくして蒼龍鬱々として恰も傘状の美観を呈し、道ゆく人を楽しませていたが、奥道に面し電線の妨げとして惜しくも犠牲となつたとはいふことに残念である。

翁は萩往復の途上、福井文忠を伴い、嬉春を訪うて閑談の一時を過すのが常であった。

一盞を傾け、嬉春に与えた詩に
百里、山川、任馬通

櫻花乱、黙雨還、風

不レ思、休、此嬉春、舍

観、太平、於青麦、中

磯部嬉春は清風が山荘邸内に建てし尊聖堂改修の際翁の求めに応じ浄資を山本、和田の両家と共に寄附したが、清風は頼山陽揮毫の双幅を贈つてその徳に酬っている。

清風松に二つの系統があり、一は鶴ヶ岡八幡宮のもの、一は武蔵高田八幡宮の五葉松である。

清風松 その三

翁は江戸詰めのころ、屢々高田八幡宮に詣で、わが藩の武運長久を祈願し、帰萩のとき、同社の五葉松の稚松を持ち帰つて平安古邸に植えたものが成長したので親友大玉子文に左の一絶一首を添えて贈っている。頃は天保八年である

愛し見る高田神嶺の松

枝を摩し幹を撫し緑陰濃なり

今より千載君の地に託す

春到れば能く萬丈の龍とならん

その地は現在萩市門田医院の所となり門田医院は累代翁の遺徳を思んで、樹下にこれが記念碑を建て、清風五葉松をこよなく愛されてきたが最近国道拡幅工事のためやむなく移植され後枯死せりとはまことに惜しいことである。

清風松 その四

なお嘉永元年翁六十六才のころ明倫館御茶屋の庭築立の際、松を献納されたよして現地を調査するも見当らない。

便秘には大きく二種類あります。
あまり苦しくない便秘……
弛緩性

大腸の動きが鈍ると便は大腸の中に長くとどまり、硬く太いのが普通です。お腹が張った感じはあつても頭痛・腹痛・イライラは殆どありません。消化のよい物ばかり食べていると腸の動きも鈍くなります。たけのこ・ごぼ・う・さつま芋・生野菜・麦飯・豆類・海藻・牛乳・ヨーグルト、便のすべりをよくする脂肪性の物を食べるようにします。



《苦しい便秘……痙攣性》
腸の逆ぜん動が原因です。きゅっとしぼったかと思うと次はとんでもないところでぎゅっと

しぼられ進んでいった便がもどされる。便が大腸の中で行ったり来たりして前へなかなか送られず、便はウサギの糞のように

コロコロとしてお腹も痛く、頭痛・イライラ・オナラも出るしゴロゴロとお腹が鳴ります。不消化、刺激性のものは避け、やわらかい消化のよい野菜・果汁・半熟卵・魚肉・バターチーズなどをとるようにします。
《トイレトレーニング》
排便反射のおきやすい朝は余裕をもって起きる。便意がなくてもトイレに行き排便につとめる。しゃがむことはお腹に力が入り便通のリズムを取りもどす助けになります。あおむけに寝てひざを曲げず上げおろしするのによいことです。

文芸

清風句会

三光

天 身の程に神籤吉なり初詣

地 一年の夢を託して初暦

人 一年に一度の羽織お元日

五客

風が出て冠重き花水仙

句一 兔史

年始客帰りに普段の味噌汁につつがなく七十五回とそ重ね

句一 梅雪

車止めこれより下乗初詣

正月の味手さばきも亡母に似て

十哲

薄化粧して看護婦も松の内

ばたばたと元日暮れて利鎌月

水仙を召せと大原女京言葉

古家の防ぐすべなしすきま風

梅咲きて雪降ることも疑わず

金婚の父母打ち揃ひ明の春

元朝や田の面に遊ぶ夫婦鶴

行事予定

○五・六・七・八日 ガン検診

○五・十四・二十一・二十八日 不用犬回収日

○十五日 不燃物収集日

○十六日 献血(役場・沢江・豊原)

○二十一日 乳児検診

○二十三日 民生児童委員会

○二十八日 三種混合予防接種

○二十、三月十四日 住民税申告相談

健康保険証の検認